

A Letter from the Career

Guidance Office No3 4.28

進路便りの3回目は、新しい共通テストへの対策法です。

共通テストへの対策は？

- ・思考力鍛えよう（丸暗記だけでは×）
- ・問題量や資料が多く、時間配分が重要になる。常に時間を意識した演習を！
- ・過去問がない（予測できない出題される）
 - ➡多くの受験生が苦手とする初見の問題に対応できる力を！
- ・国語では契約書などの実用的文書も出題（これまでの出題形式と異なる）
- ・想定得点率 センターテスト60%で問題が作成されていた
 - ➡共通テスト50%で作成（問題が少し難しくなる）

新しい共通テストには、どのような対策が必要なのでしょうか？これまで先輩たちは、センターテストの対策を、過去問演習でおこなってきました。しかし、共通テストには過去問がありません。これまで2回行われた「試行テスト」、それから模擬試験しか頼るものはありません。これらの中で出題された問題をしっかりと研究することが必要となります。

ただ共通テストとセンターテストで必要とされる知識は同じですから、これまでと同様の勉強で問題はあります。しかし、前回の進路便りで紹介したように、これまで見たこともない形式の問題が出題されることが予想されます。受験生の多くは、新しい形式の問題を苦手とするので、このような問題に落ち着いて取り組むことが必要です。初見の問題にも対応できるように、しっかりと基礎力をつけておいてください。



4月27日撮影